

古今東西 くんぐん 行きます!

郡市長がさまざまな現場を訪問し
市民の皆さまの活動の様子な
どをお伝えします



▲フォーラムには、21ブースが
出展。参加者は、説明に熱
心に耳を傾けていました

平成16年に発足。学校
向けの環境学習プロ
ラムの開発や、環境学
習を推進するリーダ
育成等を行っています。
当日は参加型のブ
ースも多く、大にぎわい
市内で活動する環境団
体や学生等が、プラス

「杜の都の市民環境教育・学習推
進会議」(愛称・FEEL^{フェール} Sen
dai) が昨年12月に開催した「環
境フォーラムせんだい2019」に
参加し、お話を伺いました。

環境問題を考えるきっかけに

19回目を迎える「環境フォーラムせ
んだい」。楽しみながら身近な環境問題
について考え、理解を深めるイベント
です。企画・運営するFEEL Sen
daiは、生活のあらゆる場面で環
境に配慮し行動する「人」を育てるた
め、教育機関・NPO・市民等により、
平成16年に発足。学校
向けの環境学習プロ
ラムの開発や、環境学
習を推進するリーダ
育成等を行っています。
当日は参加型のブ
ースも多く、大にぎわい
市内で活動する環境団
体や学生等が、プラス

暮らしと深く関わる環境問題

チックごみに関する展示や温暖化の仕
組みの実験など、多様な側面から環境
について学べるブースを出展し、子ど
もから大人までたくさんの方が学びを
深めていました。

暮らしと深く関わる環境問題

FEEL Sendaiの小金澤孝
昭委員長のお話によると、5年ほど前
から、フォーラムの企画・運営は学生
中心で行われているのだそう。学生時
代から社会人の皆さんと一緒に活動で
きるような機会は、あまりないこと
はないでしょうか。フォーラム実行委
員会委員長の大槻隆一朗さんと事務局
長の伊藤友広さんは大学3年生で、環
境に関するサークルに所属している
のこと。「環境の知識や自分の考えを
人に伝える力など、ここでの経験から
学んだことを社会で役立てていき
たい」と、大槻さん。伊藤さんは、「フ
ォーラムで築いたネットワークを生か
し、環境問題や地域の現状について多
くの人に伝えていきたい」と話されま
す。FEEL Sendaiの長年に
わたる活動が、若い世代にも着実に浸
透し、広がりを見せているのはとても
素晴らしいことです。

水環境の保全やネットワークづくり
に取り組む「NPO法人水・環境ネッ
ト東北」に所属し、FEEL Sen
daiの委員を務める谷田貝泰子さん
は、「環境問題への関心を高め、みんな
が一歩踏み出すためのきっかけをどう
つくるかが、私たちの課題です」と話

されます。小金澤委員長は、「環境問
題は日々の暮らしとつながっているの
ですが、実感されにくい。環境団体だ
けではなく世代や立場を超えて連携し、
環境について考える機会をつくって
いきたい」と話してくださいました。

一人一人が行動すること

今日の環境問題は、身近なごみの問
題から温暖化などの地球規模の問題に
至るまで、私たちの暮らしや社会の在
り方と深く関わっています。杜の都の
良好な環境を次世代に引き継いでいく
ためには、一人一人が自らの事として
環境について考え、行動に移すことが
大切です。市では、昨年「仙台市地球
温暖化対策等の推進に関する条例」を
制定し、現在、市の環境基本計画であ
る「杜の都環境プラン」の改定に向け
た検討を進めています。市民の皆さま
と手を携えながら地域から環境に配慮
した行動を広げ、未来の仙台の環境づ
くりに取り組んでいきます。

団体紹介

杜の都の市民環境教育・学習推進会議
(FEEL Sendai)

<https://www.tamaki3.jp/feelsendai/>



小金澤孝昭さん



谷田貝泰子さん

環境フォーラムせんだい2019実行委員会



大槻隆一朗さん



伊藤友広さん

